



地域における障害者等の就労、担い手の確保や地域農業の維持のため、農業者と福祉施設の双方に対し、総合的な支援を実施する岐阜県のワンストップ窓口を担う。

基本情報

- 所在地：岐阜県岐阜市
 - 団体名：一般社団法人 岐阜県農畜産公社「ぎふアグリチャレンジ支援センター」
 - 取組パターン：中間支援の取組
- 岐阜県の農福連携ワンストップ窓口
 - 農業経営体と障害者施設との農作業受委託をマッチング
 - 岐阜県、農林事務所、社会福祉協議会等と連携し、農福連携の総合的な支援を実施
 - 農福連携推進マニュアルには、障害者受け入れのポイントや農作業の切り出し、障害者が作業する際の留意点などをわかりやすく図解

取組の概要

- ① 農業者、障害福祉事業所などからの相談に対応
- ② 農福連携コーディネーターが、農業者や障害福祉事業所を個別訪問し、農作業に関する請負契約の締結をマッチング
- ③ 農福連携の現場に農作業指導者を派遣し、円滑な実施を支援
- ④ 障害者の受入体験を行う農業者に対し、請負報酬又は賃金相当額を助成
- ⑤ 障害者を受け入れている農業者及び農業参入した障害福祉事業所に対し、作業環境の整備に関する費用を助成
- ⑥ Webサイトに、わかりやすく図解した「農福連携推進マニュアル」を公表

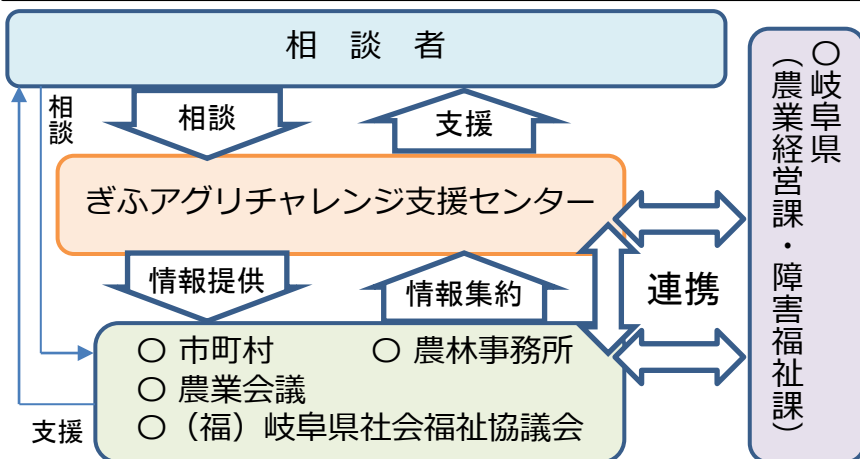


作業請負（里芋収穫）



作業請負（除草）

体制図



取組の成果（令和2年度の結果）

- ◆①相談業務 相談件数 47件、訪問件数 34件
- ◆②マッチング 農作業に関する請負契約の締結 14件
- ◆③農作業指導者の派遣 障害者農業就労支援サポーター登録者 3名、岐阜県農業ジョブコーチ登録者 10名
- ◆④農業者への助成 活用 3件（受入体験）
- ◆農業大学校において、障害福祉サービス事業所の職業指導員等に対する栽培技術の指導を実施。

所在地▶岐阜市藪田南5丁目14番12号（岐阜県シンクタンク庁舎内）
 連絡先▶TEL:058-215-1503 FAX:058-276-1268
 E-mail:agri-stock@gifu-notiku.com
 ウェブサイト▶<http://www.gifu-notiku.com/>

【取組のプロセス】

2014年～

きっかけ

2014年度頃から、岐阜県が農福連携を推進

地元での農業参入、農業法人の育成、農福連携など、幅広い分野での多岐にわたる要望に一元的に対応する窓口の必要性

「ぎふアグリチャレンジ支援センター」を設置

- 就農相談から研修、営農定着までの新規就農者のサポートに加え、移住就農や企業の農業参入を支援する総合支援窓口
- 就農にかかる農地情報の提供等就農へのアドバイス、資金面の相談や企業の農業参入、農業法人の育成、農福連携など、幅広い分野での多岐にわたる要望に一元的に対応する。



作業請負(クリの青イガ拾い)

2017年～

2017年4月に、岐阜県の外郭団体である一般社団法人 岐阜県農畜産公社内に、「ぎふアグリチャレンジ支援センター」を設置

農福連携のワンストップ窓口として「農福連携推進室」を設置

- 農福連携パンフレット、農福連携推進マニュアル、農福連携事例集などを公表
- 農作業受委託をマッチング ○ 農福連携推進活動事業(助成事業)
- 障害者農業就労支援サポーターの派遣



雇用(搾乳)

2018年～

2018年4月に、同センター内に、農福連携のワンストップ窓口として「農福連携推進室」を設置

よりきめ細かい推進体制の整備

- 2020年8月に、農福連携に取り組む農業者等を現場で支援する「岐阜県農業ジョブコーチ」を養成する研修会を開催、派遣事業を創設。
- 2020年4～11月にかけて、よりきめ細やかな推進体制づくりとして、農林事務所ごとに行政、支援機関、教育機関を構成員とする農福連携地域連携会議を設置。



作業請負(ハウスの片づけ)

2020年～

・農福に関する相談
・マッチング
・マニュアル公表
・サポーターの派遣
・障害者受入体験等の助成などを実施

さらなる農福連携の推進と理解の醸成

- 農福連携に取り組むための環境整備や農産物のブランド力向上・販路拡大へのサポートによるロールモデルづくりと県内外への情報発信。
- 高齢化や担い手不足といった課題を抱える農業・農村において、多様な担い手の一員として誰もが活躍できる地域共生社会の実現。

YouTubeに「のうふくチャンネルぎふ」を開設
・PR動画「ノウフクが農業と福祉の未来をつくる」
・農作業動画「グリーンネギの調製」、「にんにくの根切り」などを公開

今後の展望